

くろつち便り

この内容

ハンセン病問題「共に歩む会」からのお願い／
三本の矢を折る／野草折々45／米永、辻立ち
／コロナ禍で／くろつち会GG大会(10/10)／
ごてれつの独り言-菅・亀井・「社畜」他／
次回の金曜集会は10/1日(17:30～)



↑会報QRコード

ハンセン病問題 「共に歩む会」からのお願い 二つ

松下 徳二

① 原稿お願い

1998年7月31日、ハンセン病問題の裁判（「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟）開始勝訴判決を得たのが3年足らず後の2001年5月11日。今年5月11日は判決から20年目の節目の年に当たります。



2016年ハンセン病市民学会で

そこで、この判決後の20年間で「何がどう変わったか、どう変わってきたか」、「判決は何をもたらしたか」など

「共に歩む会」では、振り返ってみることにしました。そこでくろつち会員皆様のご意見をぜひお聞かせくださいませんか。

時はまさにコロナ禍の真っ最中、共通することなどないでしょうか。ぜひぜひよろしくお願い致します。

② 「共に歩む会」会費を今年度はぜひ！

くろつち総会が2年連続で開催できないままです。総会後の飲ん方大好き人間の私には残念度最大級です。さらにもう一つ、毎年

「共に歩む会」会費を直接戴く機会がなくなり、くろつち会員からは去年は半分、今年度はまだ三分の一の方々からしか会費千円を戴けていません。

コロナ禍のためにあまりできていませんが、もう少しは活動を継続していきたいと思っ



ています。なんとも厚かましいお願いですが、よろしくお願ひいたします。（過去分は必要ありません）。

安倍のキミをさがす



自民党は総裁選が慌ただしい。そこにはこれまでのコロナ対策のみならず、アベノミクスの検証もなされていない。

検証もないまま、安倍の子飼いがサナエミクスなるものを発表。これはアベノミクスと同工異曲のもので、馬鹿馬鹿しいにも程がある。

伊東光晴著「アベノミクス批判」（岩波書店）によると、第1の矢「金融政策一量的・質的金融緩和」で景気浮揚というが、株価上昇と円安は前政権（民主党）の頃からの流れであって、安倍とは全く無関係。安倍の現状認識の誤りで、日銀「景気動向指数」の資料によると、安倍が就任した時には既に、日本経済は緩やかな上昇過程にあって、この件に関しては安倍は何もしていない。

第2の矢「国土強靱化政策」は、民主党時代の「コンクリートから人へ」と真逆の「コンクリートへ」の政策だが、これまで以上の赤字国債を發行せねばならず、全く予算化されていない始末だ。これからも予算上実現されることはないという。

第3の矢「民間投資による成長戦略」は、具体的なプランが不明な点が多い。「雇用特区」「日雇い派遣の再帰帰」など、従業員を解雇しやすくしているという。これは、アルバイトや非正規職員の増加、労働条件の悪化を招いている。しかも将来の労働人口減は、反映されていないという。

総裁選はどうでもいい。問題は次期衆院選だ！

地球の自己浄化現象-コロナ



濱田篤郎氏（東京医科大学）によると、疫病は歴史的に、戦争や自然環境破壊など、大規模に人間が移動する状況の下に地球の生態系を攪乱する際に発生してきた、「地球の自己浄化」の現象だという。ペストしかり、天然痘しかり、マラリア・コレラ・発疹チフス・エイズ・SARS・・・。

（2004年「疫病は警告する」洋泉社より）

金曜集会は9月も中止になりました。**10月は予定だと1日(金)17時30分から**ですが、コロナの状況を見ながらということになりそうです。

会員宅訪問は形を変えて実施されますが、くろつち会作品展、くろつち会旅行なども中止です。忘年会もこのままだと難しいかもしれません。...

致し方ありません、こちらがコロナで「浄化」されるなんて、ごめんだ。

せめて忘年会の時期までにはコロナも終息して、思いっきり飲ん方ができたらいいのになあ。（例年5月の「くろつち会総会」もできなかったし、まだ一度も全員が揃っての宴会がないので寂しい。）



ごてれつ! —よつくさ言う人— ごてれつ!の独り言

◆菅が総裁選不出馬で、この時期誰が首相になっても一緒だったからかわいそうだったという菅への同情論があるが、とんでもない。

反対に、この時期の首相はチャンスだったはずだ。世論に背を向け、科学的見地からの意見に耳を傾けなかった結果がコロナの蔓延の一因だ。

なのに挙げ句の果ては、「五輪がコロナに影響したという証はない」などと開き直り、五輪は成功したと嘯いている。

逆に、五輪やGOTOがコロナの蔓延と関わりなかったという明白な証拠を示すべきなのに。◆亀井静香のインタビュー記事である。「五輪で飯を食っている巨大な利権集団、金を儲けるための集団がある。今の五輪はスポーツの祭典ではなくなっている。メディアまでがこれに乗っかかり、飯のタネにしている。

昔は・・・各種目ごとに世界大会を開催する機会がなく、五輪という形で、多くの種目が一緒に祭典をする意味があった。いまはほとんど全種目で世界大会を開催していて、わざわざ五輪を開催する意味が薄れてきている。」(アエロ 9月3日号)

亀井というと豪腕なイメージ

があるが、なかなか見直した。

◆ある日の記事で「社畜」という語を初めて知った。浅識を恥ずるばかりだ。諷言で、大辞泉には「会社に飼われ慣らされている家畜の意」とある。作家の安土敏の造語だそう。(広辞苑には掲載なし。これも寡聞にして安土敏なる作家も知らなかった。作家でもあり実業家でもあるというからかなり多才なんだろう。)

ところで「校蓄」とか「党蓄」という語があっても良さそうだ。「校蓄」は、学校長に飼われ慣らされている先生達、「党蓄」は政党に飼われ慣らされている、薄っぺらな信条・理念の政治屋。

また霞ヶ関には、忖度ばかり気にするような「家畜」ならぬ「霞蓄」に値する人種が多数いそうだ。
(文責 樋園)



米永さんの応援

米永さんの応援部隊「みつばちの会」が女性達を中心にして結成されました。

その会が米永さんの辻立ち3箇所を計画しました。18日(土)

の11時寿・13時大浦町・15時花岡の交差点です。

寿一里山交差点では20名程の支援者の中、米永さんがマイク片手に市民に呼びかけると、反応がよく、多くの方が車中から手を振って応えてくれました。



くろつち会 グランドゴルフ大会

くろつち会グランドゴルフ大会が開催されます。

日時 10月10日(日)

予備日17日(日)

受付 8時30分/開会9時

会場 かのやグラウンドゴルフ場
Dコース

参加料 一人300円

申込(10月4日まで)

TEL・Fax 0994-40-2375(矢野)

(携帯) 090-5736-6677

詳細は別途案内の通りです。



野草折々-45-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

タカクマヒキオコシ (シソ科)

ヒキオコシの仲間で高隈山で発見されたことでタカクマヒキオコシと名付けられた。

弘法大師が倒れている旅人に汁を飲ませたところたちどころに元気になり旅を続けられたという故事から「引き起こし(ヒキオコシ)」と名付けられたという。

2007年10月16日 高隈山御岳

